

ZEV普及プログラムの概要

※ZEV：走行時にCO₂等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）・燃料電池自動車（FCV）。ただし、PHVはEVモードによる走行時

自動車からのCO₂排出実質ゼロを目指して

- 自動車のゼロエミッション化は世界の大都市共通の責務。その鍵を握るZEVの普及に係る各種目標を掲げ、社会への定着を強力に推進
- 企業・都民や国など様々な主体と連携しながら、ZEV社会の実現に向けた変革を誘導

自動車からのCO₂排出実質ゼロに向けたロードマップと2030年目標の達成に向けた主な施策

Goal - 都が目指す2050年の姿 -

- 都内を走る自動車は全てZEV化
- 再エネの利用が進み、Well-to-Wheelにおけるゼロエミッションが実現

※ Well-to-Wheel：自動車の燃料を手に入れる段階(井戸:well)から、実際に走行させる段階(車輪:wheel)まで、全体を通して見た時に生じる環境負荷(CO₂排出量)を示す概念



Milestone ZEV普及 - 2030年目標 -

- 都内乗用車新車販売台数に占めるZEV割合 **50%**
- ゼロエミッションバスの導入 **300台以上**
- 小型路線バス※の新車販売 **原則ZEV化**
※ 乗車定員が30人程度の路線バス

Milestone インフラ整備 - 2030年目標 -

- 急速充電器 **1,000基**
- 水素ステーションの整備 **150か所**

ZEV普及

インフラ整備

2030年

2030年

■ ZEV普及を支えるインフラの確保

- ・社会インフラとして、ZEVの導入に先行して充電器・水素ステーションの充実を図るため、整備費等に対する支援を実施
- ・大規模建築物の新築や都市開発の機会を捉え、充電器の設置を誘導
- ・水素ステーションに関する規制緩和を国に要望
- ・都有施設などを積極的に活用

■ 社会定着に向けた機運醸成

- ・官民連携による普及促進
- ・ZEVに触れ、ZEVを体感する機会の創出

■ 乗用車・バス・バイクなど車両のZEV化促進

- ・同クラス車種との価格差を埋め、割高感・負担感を軽減。自動車メーカーに対し、ZEVの開発促進や車種多様化等を働きかけ
- ・ユーザー、メーカー、販売店等に対して、ZEV導入を促す仕組みを検討
- ・都の庁有車にZEVを積極的に導入

■ エネルギーマネジメント等への貢献

- ・非常時の給電や再エネ導入時のエネマネへの活用に向け、V2Hや外部給電器の導入を支援

2020年

[2030年に向けたZEV普及の施策展開]

2020年